

新潟市 浸水ハザードマップ 北区編 (拡大版④)



● 新潟市浸水ハザードマップとは ●

この浸水ハザードマップは、河川のはん濫がはじまる前までを想定しており、下水道の雨水排水能力を上回る雨が降った際、下水道の能力不足や河川の水位が上昇し雨水を排水できない場合に浸水の発生が想定される区域と深さを表示するとともに、浸水への対応や避難所などを記載したものです。

〈想定条件〉

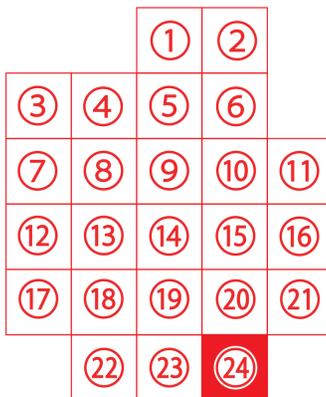
- (1) 想定している降雨の規模は、これまでに新潟市で観測された最大の降雨平成10年8月4日降雨(時間最大雨量97mm・新潟観測所)であり、浸水被害をもたらした降雨です。
- (2) 下水道施設の排水能力は、平成29年3月時点のものです。
- (3) 河川水位は、氾濫しない範囲での計画高水位を想定しています。
- (4) 想定を超える大雨が降った場合や、河川のはん濫等は考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこの図より大きくなる可能性があります。

〈想定降雨の説明〉

想定降雨は、平成10年8月4日に観測された既往最大降雨であり、甚大な被害をもたらした降雨です。

この降雨は、下水道の排水能力を上回る時間最大雨量97mmと大きな降雨であり、またこの降雨の際には、河川のはん濫がない状況で浸水被害(内水はん濫)が発生しました。

※時間最大雨量97mmの降雨とは、1時間に最大で97mmの雨が降る降雨のことです。



想定降雨：平成10年8月4日
排水施設：平成29年3月時点



凡例

〈浸水深〉

- 80 cm - 100 cm
- 60 cm - 80 cm
- 45 cm - 60 cm
- 30 cm - 45 cm
- 10 cm - 30 cm
- 0 cm - 10 cm未満

区界又は行政界

対象区域

避難所

ポンプ場

冠水の恐れのある主なアンダーパス箇所

アンダーパスとは、道路及び鉄道の立体交差部で掘り下げ式になっている道路(周りの地盤よりも部分的に低くなっている道路)で通行止めになる箇所もあります

